

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	ゆとりある住環境整備事業	コード	1 - 1 - 1 - 1
位置づけ	若い世代定住プロジェクト ゆとりある暮らしを支えるまちづくり 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進		
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	都市建設部 都市計画課 課等長 高石 和明
予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 -		
根拠法令	都市計画法・都市計画関連法	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	千葉ニュータウン事業の完了、人口減少社会の到来、少子化・高齢化の進展を迎え、持続可能なまちづくりを進めるためには、より地域の特性を生かしてまちの魅力を高めていくことが必要である。		
目的	対象（誰・何を） 住環境	意図（どういう状態にしたいか） 若い世代が魅力を感じる、ゆとりある住環境を実現することで、子育て世代の移住・定住を図る。	
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・都市計画法・都市計画関連法を活用し、ゆとりある住宅が立地可能になるような誘導施策を実施		

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・H28年度に改正したまちづくり条例により、市街化区域1地区・市街化調整区域1地区で地区まちづくり計画を策定した。 ・H28年度に策定した「用途地域の指定方針及び指定基準」により、桜台地区における千葉NT事業区域内の未処分地において、業務系用地を住宅系用地に誘導するための都市計画変更（地区計画）を行った。 ・H28年度に策定した「市街化調整区域における地区計画の運用基準」により、市街化調整区域において保育・子育て施設の誘導を図る地区計画（根拠的施設誘導地区地区計画）の策定の手続きを行っている（30年度継続）。		
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）	

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算	
事業費計	A							
財源内訳	国県支出金							
	受益者負担	B						
	地方債							
	その他							
	一般財源		0	0	0	0	0	
人件費計	C	0	6,488	6,359	6,359	6,359	6,359	
内訳	正職員	人数		0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
		人件費	0	6,488	6,359	6,359	6,359	6,359
	臨時職員	人数						
		人件費						
総コストD=A+C		0	6,488	6,359	6,359	6,359	6,359	
市民1人コストD/人口(円)		0.00	102.33	99.69				
受益者負担率B/D(%)								

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
① 地区計画・地区まちづくり計画の策定数	地区	目標	-	-	-	5	都市計画的手法の成果として地区計画等の策定数とした。 ※H32は累計の目標数
		実績	-	-	2		
	種別	活動指標	指標の方向	達成率	-	-	
指標1単位当たりコスト(千円)			-	-	3,179.6	1,271.8	コスト効率 向上
② 住宅地価上昇率	%	目標	-	-	-	±0	公示地価の標準地（住宅地平均）の上昇率
		実績	-	-	-		
	種別	成果指標	指標の方向	達成率	-	-	
指標1単位当たりコスト(千円)			-	-	-	-	コスト効率 -

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	○	H28年度に策定した2つの基準やまちづくり条例改正などにより、H29年度は徐々に成果が表れ始めており事業を継続することは必要である。
市が関与する必要性は薄れていないか	○	
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	○	
有効性	○	若い世代が魅力を感じる、ゆとりある住宅の立地が可能になるような規制・誘導施策を展開することにより、良質な住宅が供給され、若い世代の定住につながるため、有効である。
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
効率性	○	民間事業者や地区住民からの提案により地域の魅力を高めるもので効率的である。
他事業との連携・統合の余地はないか	○	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	
市民・対象者二つの状況・内容	○	民間事業者や地区住民からの提案により地域の魅力を高めるもので効率的である。
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	○	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了
事業の方向性	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 終了
	<input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し			
	<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合			
	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善			
	<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大			
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大			
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し			
	<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用			
	<input type="checkbox"/> その他			
	改善内容			
改善により期待される効果				

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	近居推進事業	コード	1 - 1 - 1 - 2
位置づけ	若い世代定住プロジェクト ゆとりある暮らしを支えるまちづくり 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進		
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	都市建設部 建築宅地課 課等長 泉水 克裕
予算科目	会計 一般 款 7 項 4 目 1 事業	★近居推進事業	
根拠法令	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	人口減少と少子化・高齢化を迎え、一定の人口規模・人口構成のバランスを維持することは持続可能なまちづくりのために必要である。		
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	
	市内に親世帯が居住している市外の子育て世代	市内の親世帯と近居又は同居することを目的に白井市に移住・定住することを促進し、若い世代と高齢者世代が互いに支え合い安心して暮らす。	
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・市内に居住する親世帯との近居・同居を目的として市内に移住した子育て世代に対し、住宅取得費用等の一部の補助を実施		

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・補助事業の実施（転入世帯32世帯、転入者数94人） ・制度のPR （広報、HP、地区回覧、不動産事業者等にチラシ配布、ポスター掲示、UR賃貸住宅（近居割WIDE）との共同でのチラシ作成等）		
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）	
	その他（URとの連携）	UR賃貸住宅（近居割WIDE）との共同でチラシを作成し、PR活動を行った。	

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算	
事業費計	A		6,395	14,531	10,620	10,620	10,620	
財源内訳	国県支出金			1,838	5,250	4,725	4,725	
	受益者負担	B						
	地方債							
	その他							
一般財源		0	6,395	12,693	5,370	5,895	5,895	
人件費計	C	0	4,055	3,975	3,975	3,975	3,975	
内訳	正職員	人数		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
		人件費	0	4,055	3,975	3,975	3,975	3,975
	臨時職員	人数						
		人件費						
総コストD=A+C		0	10,450	18,506	14,595	14,595	14,595	
市民1人コストD/人口(円)		0.00	164.82	290.10				
受益者負担率B/D(%)								

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
①	転入世帯数	世帯	目標	-	20	25	25	補助金申請をした転入世帯数
			実績	-	13	32		
	種別	活動指標	指標の方向	↑	達成率	-	65.0	
指標1 単位当たりコスト(千円)				-	803.8	578.3	583.8	コスト効率 向上
②	本事業が白井市への移住の「後押しになった」人の割合	%	目標	-	50	50	50	補助金申請者に対して行うアンケートで、白井市への移住の「後押しになった」という回答の割合
			実績	-	38	54		
	種別	成果指標	指標の方向	↑	達成率	-	76.0	
指標1 単位当たりコスト(千円)				-	275.0	370.1	291.9	コスト効率 低下

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性		
市が関与する必要性は薄れていないか	○	若い世代の移住・定住を促進し、一定の人口規模・人口構成のバランスを維持することは持続可能なまちづくりのために必要である。
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	×	
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性		
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	補助金の制度だけでなく、関係課と連携し、白井市の魅力と白井市で近居・同居をすることのメリットを発信することを検討する必要がある。
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
他事業との連携・統合の余地はないか	×	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
効率性		
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	申請書には、申請者の要件を満たすことを確認するため、やむを得ず多くの添付書類を求めており、申請者の負担となっているが、チェックリストの活用や窓口での丁寧な説明により対応しており、プロセス等を見直す余地はない。
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 本制度が「後押しになった」として転入した世帯数が前年度より増加しており、今後も本制度を活用して若い世代の白井市への移住・定住の増加が期待できる。	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了
事業の方向性	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定	(実施時期： H 年 月)	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	(年度)
	<input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し	(実施時期： H 年 月)	<input type="checkbox"/> 休廃止	(年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	(実施時期： H 32 年 3 月)	<input type="checkbox"/> 終了	(年度)
	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善	(実施時期： H 年 月)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	(実施時期： H 年 月)		
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期： H 年 月)		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期： H 年 月)		
改善内容	<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用	(実施時期： H 年 月)		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(実施時期： H 32 年 3 月)		
	関係課と連携し、白井市の魅力と白井市での近居・同居のメリットを発信する。国県支出金の配分額が要望額より大幅に下回り、事業の執行に支障をきたしつつあることから、本事業の今後の方向性を再検討する必要がある。			
改善により期待される効果	白井市の親元で同居や近居をすることの魅力・メリットをPRすることにより、若い世代の白井市への移住定住を促進することができる。			

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	公園施設環境整備事業			コード	1 - 1 - 2 - 1		
位置づけ	若い世代定住プロジェクト		ゆとりある暮らしを支えるまちづくり				
	子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備						
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	都市建設部 都市計画課		課等長	高石 和明	
予算科目	会計	款	項	目	事業	公園施設環境整備事業	
根拠法令	都市公園法			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	子育て世代の定住しやすい環境づくりや急速な高齢化などに対応するため、地域の特性や年齢構成に応じた公園機能整備が必要となっている。						
目的	対象（誰・何を）			意図（どういう状態にしたいか）			
	子ども・高齢者・障がい者など全ての公園利用者			地域の特性に応じた公園機能の整備を進め、安全で快適に公園を利用できる。			
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・地域の特性に応じて、各公園に求められる機能の整備やバリアフリー化を進める。 （子どもたちの遊具や健康器具の設置、トイレの改修など）						

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・長寿化計画策定の検討を行い、H30年度に都市公園長寿化予備調査業務委託を実施することとした。						
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目			改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）			

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算
事業費計 A					11,688	13,979	11,175
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
一般財源		0	0	0	11,688	13,979	11,175
人件費計 C		0	811	795	795	795	795
内訳	正職員	人数	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		人件費	0	811	795	795	795
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C		0	811	795	12,483	14,774	11,970
市民1人コストD/人口(円)		0.00	12.79	12.46			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
①	種別	指標の方向	目標	-	-			具体的方策の調査・研究段階のため、指標については設定できない。
			実績	-	-			
	達成率	-	-	-	-			
	指標1単位当たりコスト(千円)	-	-	-	-	コスト効率	-	
②	種別	指標の方向	目標					
			実績					
	達成率	-	-	-	-			
	指標1単位当たりコスト(千円)	-	-	-	-	コスト効率	-	

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	○	市が関与する必要性は薄れていないか
○	対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	
○	事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	
○	対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	
有効性	○	国・県・民間に類似の事業・サービスはないか
	○	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか
	○	他事業との連携・統合の余地はないか
○	手段は適切か、サービス水準は適切か	
効率性	○	民間委託や市民団体等との協働の余地はないか
	○	受益者負担について見直す余地はないか
	○	業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか
	○	実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 住民意識調査の結果では、子供を遊ばせる公園や遊具が少ない気がするという意見もあることから、今後、具体的なニーズの把握方法について検討していく。	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 目的(対象・意図)の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	(実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月) (実施時期: H 年 月)
改善内容		
改善により期待される効果		

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・施設等整備事業用）

評価対象年度 H29年度

1 基本情報

事業名	道路環境整備事業	コード	1 - 1 - 2 - 2
位置づけ	若い世代定住プロジェクト ゆとりある暮らしを支えるまちづくり		
	子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備		
事業期間	平成13年度～平成30年度	担当	都市建設部 道路課 課等長 鈴木 栄一郎
予算科目	会計 一般 款 7 項 2 目 2 事業 ★道路環境整備事業		
根拠法令	事業区分 ■ 市単独事業 □ 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	子ども連れや高齢者、障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を構築するための環境の整備の推進が求められている。			
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）		
	子ども・高齢者・障がい者など全ての道路利用者	安全で円滑に道路を通行できる。		
手段	・ 駅周辺の主要道路における歩道の段差、勾配改良等の工事実施			
	全体計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度以後計画
	歩道段差、勾配改良工事：5か所 点字ブロック改修工事：1か所 (堀込地区、南山地区)	歩道段差、勾配改良工事：4か所 精査により歩道段差、勾配改良工事1箇所不要となる。 (南山地区)	対象工事完了のため、事業なし。 修繕工事等の他事業に併せて整備を実施。	対象工事完了のため、事業なし。 修繕工事等の他事業に併せて整備を実施。

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	歩道段差、勾配改良工事：4か所（南山地区）	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）

4 コスト (Do②)

		(千円)					
区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算
事業費計	A	2,146	2,430	2,411	0	0	0
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
一般財源		2,146	2,430	2,411	0	0	0

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算	
人件費計	C	1,986	2,028	1,987	0	0	0	
内訳	正職員	人数	0.25	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00
		人件費	1,986	2,028	1,987	0	0	0
	臨時職員等	人数						
		人件費						
総コストD=A+C		4,132	4,458	4,398	0	0	0	
市民1人コストD/人口(円)		65.40	70.30	68.95				
受益者負担率B/D(%)								

5 指標 (Check①)

指標名	単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
① 整備率	%	目標	-	17	50	-	既整備か所/計画整備か所 ※H28以後整備予定のもの
		実績	-	17	100		
		種別 成果指標 指標の方向 ↑ 達成率	-	100.0	200.0		
指標 1 単位当たりコスト (千円)			-	268.5	52.7	-	コスト効率 向上
② 道路のバリアフリーに対する満足度	%	目標	-	50	50	50	道路のバリアフリーに対する市民の満足度
		実績	-	47	50		
		種別 成果指標 指標の方向 ↑ 達成率	-	93.8	100.0		
指標 1 単位当たりコスト (千円)			-	95.0	88.0	0.0	コスト効率 向上

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
有効性	○	計画どおり事業を実施した。
効率性	○	既設資材を再利用することにより、コスト縮減が図られた。
効果性	○	
実施体制	○	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input checked="" type="checkbox"/> 終了 (H30年度)
改善内容	<input type="checkbox"/> 整備内容・水準の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 整備スケジュールの見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 工法や仕様の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 特定財源の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年 月)
改善により期待される効果	

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	みどりと歴史文化の魅力づくり事業	コード	1 - 1 - 3 - 1
位置づけ	若い世代定住プロジェクト ゆとりある暮らしを支えるまちづくり みどりや文化資源などを活用した魅力ある暮らしの推進		
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	市民環境経済部 環境課 課等長 川上 利一
予算科目	会計 一般 款 4 項 1 目 4 事業 ★みどりと歴史文化の魅力づくり事業		
根拠法令	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	若い世代の定住を推進するため、白井市の魅力の一つである自然やその中にある歴史文化にふれる機会を増やし、市の魅力を実感してもらう必要がある。		
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	
	市民	白井市の資源であるみどりや歴史文化に触れあう機会を増やす。	
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 プロジェクトチームにより、市のみどりや歴史文化に触れ合うイベント等を実施		

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	当該事業にかかるイベントとして、白井市郷土資料館および隣接する特別保全緑地、白井総合公園を対象地とした、白井市の自然を体験し歴史を学べる「ナソトキウォーキング」を開催した。		
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）	
	市民等との協働を導入・拡大	平成29年度に実施したイベントは、ときめきマルシェと連携し、同日開催した。	

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算
事業費計 A				147	181	181	181
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
	一般財源	0	0	147	181	181	181
人件費計 C		0	406	795	795	795	795
内訳	正職員	人数	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10
		人件費	0	406	795	795	795
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C		0	406	942	976	976	976
市民1人コストD/人口(円)		0.00	6.40	14.77			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明	
①	みどりや文化資源などに興味を持った人の割合	%	目標	-	-	70	70	イベント等実施後のアンケートの結果で、みどりや文化資源などに興味を持った人の割合	コスト効率 向上
			実績	-	-	94			
	種別 成果指標 指標の方向	↑	達成率	-	-	134.3			
指標1単位当たりコスト(千円)				-	-	10.0	13.9		
②	参加者数	人	目標	-	-	400	200	イベント等に参加した人数	コスト効率 向上
			実績	-	-	168			
	種別 成果指標 指標の方向	↑	達成率	-	-	42.0			
指標1単位当たりコスト(千円)				-	-	2.4	4.9		

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性		
市が関与する必要性は薄れていないか	○	若い世代の定住を促進するためには、より多くの市民に白井市の暮らしの良さを知り、実感してもらうきっかけづくりが必要である。
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	×	
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性		
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	白井市の自然を体験し歴史を学ぶためには、イベントを行い多くの人に体験してもらう手段は有効であると考ええる。
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	×	
他事業との連携・統合の余地はないか	○	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
効率性		
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	市民団体との協働により実施しており、効率的である。
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか	○	
実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 平成26年度「第13回住民意識調査」で、自然保護活動に「すでに取り組んでいる」又は「今後取り組みたい」との回答は全体の約3割、文化財・伝統的文化の保護活動に「すでに取り組んでいる」又は「今後取り組みたい」との回答は全体の約2割であったことから、本事業にも一定のニーズがあることがわかる。	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 目的(対象・意図)の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	
改善内容		
改善により期待される効果		